

(様式 1)

## 令和 5 年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県花総合センター 農産食品課

2 施設所在地  
砺波市高道 4 6 - 3

3 施設設置年度  
昭和 62 年度

4 設置目的  
県民に花の栽培技術及び活用方法その他花に関する情報を総合的に提供し、もって県内における花の生産の拡大と県民の花に親しむ意識の高揚を図る。

5 施設概要  
主な施設  
・本館：鉄筋コンクリート 2 階建 775.4m<sup>2</sup>  
・展示温室：鉄骨造 2 階建 501.41m<sup>2</sup>  
・作業管理棟：鉄骨造平屋建 236.03m<sup>2</sup>  
・栽培温室：鉄骨造平屋建（4 棟） 453.6m<sup>2</sup>  
・モデル化花壇 10 面 1,031m<sup>2</sup>

6 指定管理者  
公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団

7 指定期間  
5 年  
平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R1	R2	R3	R4	R5
100,500	100,500	98,000	98,000	103,500

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R1	R2	R3	R4	R5
1,130	1,152	1,128	1,132	1,160

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R1	R2	R3	R4	R5

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・全体として、異常天候で猛暑となった7月～8月は高温に起因する出控え等により減となった。  
・しかし、イベント時に効果的なマスコミの露出に努めたほか、比較的天候にも恵まれたことから、秋頃より持ち直し、さらに冬季の降雪も著しく少量であったことが幸いし、令和4年度より5パーセントの増の103,5000人となり、目標入園者数を達成するに至った。  
・使用料等の収入については、センターの職員が講師を務める寄せ植え講座の要望が増えたため、令和4年度より増加した。

### (2) サービス向上に向けた取組み

・「生産者から学ぶ」と冠したオープン講座(年4回)を実施。  
・花まつり(年3回)期間に、花苗の販売と生産者による寄せ植え体験等を実施し、栽培方法等を直接指導するなど生産者と消費者の交流の場を設けた。  
・樹木名表示が欠落した箇所があり、利用者から名前を知りたいとの要望を受けたため、令和5年度に樹木名札を新設した。

### (3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

・園芸講座を年41回開催し、「チューリップ四季彩館」等との施設連携を実施し、講師の相互交流を図った。  
・本館展示ホールにて花まつりや季節ごとのテーマを設け、1年間に9回の展示を実施した。  
・年間の催し物案内と花ごよみを記載したパンフレットを作成し、花まつりや季節展示について各機関を通して広くPRするとともにHPで随時見ごろの花やイベントの告知を行った。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：本館1階事務所横にアンケート用紙を設置した。
回答者数	189人
結果	「良かった」が78.3%、「まあまあ良かった」が19.0%と全体の約97%以上を占めた。
結果を踏まえた改善事項	・「良かった」と回答した人の割合が令和4年度より向上しているが、これに甘んじることなく更なる満足度向上を目指し、より魅力的で来園者が非日常を感じられるよう努める。 ・来園者の大多数を占めるシニア層を意識し、ユニバーサルデザインを考慮した安心安全な施設運営を心がける。

#### ②その他利用者の声を反映させる取組み

ホームページの問い合わせメール

#### ③主な苦情と対応

無

### (5) 個人情報保護の取組み

講座の受講者等の個人情報は厳重に管理している。

(6) 関係団体との連携

・「砺波チューリップ公園」、「チューリップ四季彩館」や「砺波市美術館」、「砺波市観光協会」、「道の駅砺波」等と連携し、パンフレット設置といった情報発信に積極的に取り組み、「園内ぐるり会」での情報交換を実施。  
・「チューリップ四季彩館」が開催する「第38回春を呼ぶチューリップ展」に合わせて「早春を彩る花まつり2024球根植物③」を開催するなど引き続き連携を強化した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

警備保障会社への再委託により、防犯、火災、設備監視等を適切に実施している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	4
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・コロナ禍が過去のものとなった現在において、公園等屋外施設の需要回復が顕著であることから、魅力ある展示や体験事業の拡充を図ること等により、来園者の満足度を向上させ、リピーターや新規を問わず来園者の増加に努める。  
・開園から35年以上が経ち、老朽化による施設の不備も散見されることから、適切に修繕を実施し、高齢者や障がい者に十分配慮した施設運営や環境づくりにも努める必要がある。